

令和2年度 狭山市社会福祉審議会

第1回「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定専門部会」会議録

開催日時 令和2年7月16日（木）
午後3時40分から午後4時50分まで

開催場所 入曽地域交流センター 大ホール

出席者 8名
宮本会長、室岡委員、矢吹委員、吉田委員、井村委員、河井委員、
木下委員、坂本委員

欠席者 1名
賓積委員

事務局 5名
西澤長寿健康部長
吉崎長寿安心課介護保険担当課長
小林長寿安心課介護事業担当主幹
柿沼長寿安心課福祉・いきがい支援担当主幹
堀口長寿安心課福祉・いきがい支援担当主幹

傍聴者 1名

- 1 部長あいさつ
- 2 部会長の選出
- 3 職務代理の指名
- 4 議事

(1) 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定方針について

(社会福祉審議会資料2-3)(資料①、②)

- ・第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定方針について、長寿安心課事務局より説明。

〈質疑応答〉

部会長 総務省を中心に広い分野で、2040年問題を検討している。団塊ジュニア世代が65歳になり、労働者人口が減少し、支える側と支えられる側の状況が悪化してくると同時に、社会保障費も急増していく。今後、そこを見据えて、介護、サービス量、地域体制を考えるというのが、国の指針という理解でよいか。

事務局 はい。

部会長 介護保険事業計画は3年ごとにサービスの見込量を算出するが、今回、中長期的に様々な状況を見据えるとの考えが国にあるようなので、中長期的な見込みが検討できれば良い。

委員 会議資料2-3、「2 計画策定の主な視点」の(6)地域包括ケ

アシシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組強化について、どこの施設も人材不足は課題であるが、どのように確保すればよいか分からない。就職相談会を開いても応募は少なく、多様な人材の活用ということで、シルバー人材、外国人実習生などの取組はあるが、上手く進んでいない。埼玉県で介護人材確保に向けた事業を行っていると思うが、狭山市はどのようにリンクさせていくのか。今後、第8期計画を策定していく中で、検討する部分であると思う。

部会長

会議資料2-3、「2 計画策定の主な視点」の(6)地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組強化に、介護人材の確保策の記述はあるが、「業務効率化」の取組は触れられていない。介護ロボットの活用や業務の仕分け、文書負担の軽減など、業務の効率化を図らなければ、現場の負担は大きくなり、切実な問題になる。この「業務の効率化」について、計画の中に取り入れるのか方向性を説明してほしい。

事務局

業務の効率化について、専門職が必要な部分と専門的な知識が必要でない部分があり、国はそこを仕分けし、知識が必要でない作業に、地域の高齢者に協力してもらおうシステムをつくる施策を進めている。市においても高齢者の協力を募るシステムを検討しなければと考えている。業務の改善については、介護サービス従事者が、業務量に追われないよう、紙の資源削減を進める指導があるので、少しずつ改善することが必要だと考える。人材確保については、介護サービス事業者協議会と共同で就職相談会を行ってきたが、参加者が来ない状況が続いた。「介護職の魅力向上」に力を入れ、参加者を増やすことから、少しずつ進めていきたい。

委員

市のホームページに、男女別・地区別人口が毎年1月1日現在で掲載されている。毎年5月の始めにデータがアップされるが、2020年度版がなかったため、市に問い合わせをし、7月に掲載してもらった。自身でホームページを見ながら各地区の人口構成や高齢化率の調査をしているが、データを活用するため、5月と言わず、もっと早い段階でホームページに掲載することはできないか。

事務局

長寿安心課内で情報提供できないか、今後、検討していきたいと思う。

委員

会議資料2-3、「2 計画策定の主な視点」の(5)認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進についての記述について、今後、協議しながら具体的な内容を載せたほうが良い。

事務局

資料に具体的な記載はないが、現計画の中で、認知症施策の事業がある。今後、認知症高齢者が増加することに対し、強化する部分の施策を検討していく。今年度、市ではケアパスといった、認知症になった場合の相談の場や医療機関への受診のタイミングといった認知症

の知識を身に付けることができる冊子の作成を検討している。それを周知し、相談の場の強化、認知症の方、その家族の支援を具体的に進めていきたい。

- (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果について
(会議資料 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査【結果報告書】)
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果について、事務局より説明。

〈質疑応答〉

部会長 アンケートは、コロナ禍前の調査結果である。現在の状況は、悪い方向に進んでいるが、どう捉えていくかだと思う。新型コロナウイルスで外出できず、うつになりかけている方もいる。その辺りについても今後の施策を議論する中で、委員の方から意見をいただきたい。

委員 狭山市の高齢化率は高いが、要介護認定者は少ない。この良い特徴を活かす施策が大事になる。いきいき百歳体操をはじめ、体を動かしたい、手軽に自宅で運動したいと思っている方がいるので、その辺の内容を計画の中に入れられると良いのではないかと考える。

委員 新型コロナウイルスの影響で、3月から7月まで休みにしていた体操教室を、公民館の許可も出たことから、人数を減らすなどの対策をして再開したが、85歳の方から、この機会に辞めたいとの申し出があった。電話越しの声は小さく、落ち込んでいたため、後日、改めて電話を試してみようと思うが、今後、このような方が増えるのではと心配である。

5 その他

- ・次回の会議予定について、担当課長より説明。

9月24日(木) 午後1時半～ 市役所7階 701、702 会議室

6 閉会

〈終了〉